

TIME	映像	内容
	<p>タイトルVTR</p>	<p>オープニングタイトル</p>
	<p>スタジオ 2S T 麒麟 田村 裕 T 藤井未莉佳</p>	<p>田村：「お元気ですか！市民のみなさん」 麒麟の田村裕です。 藤井：藤井未莉佳です。</p> <p>藤井： 田村さん、 「スポーツの秋」とはいえ、ちょっとバスケし過ぎじゃないですか？</p> <p>田村： すいません。</p> <p>藤井： ツイッター、そればかりですよ？</p> <p>田村： そうなんですよ。</p> <p>藤井： しかも、スタジオにボール持ってきてますよね。</p> <p>田村： すいません。ボールがないと緊張するんです。 これがあると安心して仕事に挑めるんです。</p> <p>藤井： バスケットボールって結構大きいんですね。</p> <p>田村： 大きいですよ。</p> <p>藤井： おお！ ちょっとマジシャンみたい！すごい！かっこいいですね！</p> <p>田村： プロ選手とかじゃなくて、マジシャン？</p>

藤井：

カッコいいですね。

田村：

本当ですか？ありがとうございます。

藤井：

それぞれの秋を、「文化の秋」とか「読書の秋」とかね  
楽しんでいただければと思うんですが、10月に入りまして  
新しい「市報すいた」が発行されております。

田村：

良い表紙ですね。女の子がトマト食べてますけども。

藤井：

毎年、「市報すいた」では、市内の小学生が広報紙の記者となって、  
一つのテーマについて掘り下げて取材して、記事にするという企画を  
行っていて、今年は「吹田と地産地消」。  
「地産地消」というと「地元で生産されたものを地元で消費する」  
ということですが、自分たちが食べているものがどんなふうに  
作られているかを知るのが大事だと思います。

田村：

吹田に地産地消ってイメージはないですけどね。

藤井：

吹田では、「地産地消」がなかなか簡単にはいかないからこそ  
市民のみなさんに吹田の農業に興味を持ってもらおうということで  
こちらの企画「吹田と地産地消」ということなんですね。

田村：

いいですね。どうせなら吹田で作ったもの食べたいですよ。

藤井：

市報では、子どもたちが学んだことを記事にしているんですが、  
この番組では、そんな子どもたちの取材の様子を追いかけてみました。  
題して「こども記者が行く」。  
記者となった子どもたちは取材を通して何を感じ、  
何を学んだんでしょうか。ご覧ください。

VTR

藤井NA

今回、こども記者となったのは。

子ども記者：

今日も一日がんばるぞ！ おー！！

藤井NA

こちらの小学生5人です。市内にお住まいです。

藤井NA

「吹田の地産地消」がテーマということで、こども記者たちは吹田の農家を訪ね、その農家で採れた野菜を使った料理を提供するレストランで取材を行いました。

藤森妃菜記者インタビュー：

吹田野菜がどんなものか調べてみたいと思います。

上野碧斗記者インタビュー：

農家さんの工夫とか努力が知りたいです。

藤井NA

この日、こども記者たちは何を感じ、何を学んだんでしょうか？

**【特集タイトル「こども記者が行く - 吹田と地産地消 - 』】**

藤井NA

7月31日、まず こども記者たちは、江坂町にある「平野農園」を訪れました。

平野農園では薬品を使わず、無農薬で野菜を栽培しています。

あの「吹田くわい」を栽培している数少ない農園です。

この道70年という平野紘一さんが、こども記者たちの取材のお相手。子どもたちは、農園内で育てられている野菜を実際に収穫しました。

藤井NA

安心して食べられるということで、収穫したての野菜を生で試食しました。これは「つるむらさき」ですね。

(藤森妃菜記者インタビュー)

なんかちょっとぬるぬるしていて、結構おいしかった。

藤井NA

突然ですが、ここで田村さんに「野菜クイズ」です。  
さて、この「? (ハテナ)」に隠れている野菜は何でしょうか？  
この日、こども記者たちが収穫した野菜の一つなのですが、  
ヒントは「花」です。

藤井NA

正解は「オクラ」でした。  
先が上の方を向いて生えているんですね。  
そして、よく見ると、小さい産毛のようなものが生えているんです。

藤井NA

オクラを収穫したこども記者に感想を聞いてみました。

芳賀文佳記者インタビュー：

毛が生えてて気持ちいいです。

藤井NA

この日、こども記者たちはこんなにたくさんの野菜を収穫しました。  
平野農園さん、どうもありがとうございました。

藤井NA

農園の中には野菜の直売所がありまして、ここでは収穫した  
ミニトマトの仕分け作業を行いました。  
このように200円で店頭に並び、販売されました。  
接客も体験。  
こども記者たちの汗と思いが詰まったミニトマト、とても評判でした。

買い物客インタビュー：

「子どもたちにすごい良い経験ができる取り組みだと思います」  
「どうやって野菜が出来ているかとか、当たり前のように  
食卓に並んで、その経緯を知らない子が多くて、  
そういうのを知るとなると「いただきます」って、ちゃんと言える  
心が育っていくのかなと」

藤井NA

体験が終わり、こども記者たち、いよいよ平野さんにインタビューです。

記者：

農家になってよかったと思うことはなんですか？

平野：

皆さん1人1人が採っていただいた野菜にも「におい」があります。また舌触りがあります。

ちょっと食べてくださいというと夏野菜ではぬるっとした、これが体にいいんじゃないかということですね、子どもたちも夏の健康な食べ物はこういうものなんだと知っていただくことが良いと思います。それでやりがいがあるということです。

平野絃一さんインタビュー：

子どもたちが農業に対して関心を持ってきている喜びというか何かしら元気をいただきました。

この暑い中、一生懸命笑顔で収穫して、そしてそのまま食べたら体にいいよということ素直に食べてくれる。それだけ関心を持たれる子どもたちが吹田にたくさんおられるんだなと感じ取りました。うれしいです。

私たちがやってきたことが子どもたちにもわかってくれそうな気配がしたので、私も年がたってますけど、もう少しがんばりたいなという意欲をいただきました。子どもからいただきました。

藤井慶次記者インタビュー：

いろんなことを知って嬉しかった。

芳賀文佳記者インタビュー：

収穫とかするのは初めてだったから、良い体験になって、質問とか自分のわからないことをしっかり聞けたのでよかったです。

太田真穂記者インタビュー：

農家の人は大変だけど、美味しい野菜があるからすごいなと思いました。

藤井NA

まずは地元で産まれた野菜、「地産」について、たくさんのことを学んだことも記者のみなさん。

次は、それを地元で消費する「地消」について学びます。

TIME	映像	内容
	スタジオ	<p>田村： 素晴らしい！</p> <p>藤井： 本当に良い経験しましたよね。</p> <p>田村： 本当に子どもたちの好奇心をくすぐられてる表情っていうんですかね、 いろんなこと感じながらやってるなっていうのが分かって めっちゃ良かったです。 農家の平野さんが、すごい良い気持ちになっていただいて いろんな可能性を感じていただいているのが、ウィンウィンで すごい良い企画ですね。</p> <p>藤井： 「地産地消」の「地産」について学びましたが、 このあと場所を移して「地消」について取材しました。</p>

TIME	映像	内容
	<p>VTR</p>	<p><u>藤井NA</u>                      続いて、こども記者たちが訪れたのは、江の木町にあるレストラン「ヴォラーレ江坂」さん。平野農園さんの野菜をはじめ、体に優しい食材を使っているお店です。</p> <p>野菜を持ってきたこども記者：                      平野農園で収穫してきた野菜です。お願いします。</p> <p>ヴォラーレ江坂スタッフ：                      おー！すごいな！たくさん採れましたね。これ全部採ってきたん？ありがとう。</p> <p>ヴォラーレ店長 村田好平さんインタビュー：                      これだけ採ろうと思ったらすごい大変なんで、この炎天下の中。大したもんやと思います。子どもたちに感謝の気持ちですね。</p> <p>ヴォラーレシェフ 石橋勇也（ゆうや）さんインタビュー：                      素材の良さと夏野菜のおいしさを感じてもらいたいと思います。がんばります。</p> <p><u>藤井NA</u>                      こども記者たちが収穫した野菜、どんな料理に変わるのでしょうか？</p> <p><u>藤井NA</u>                      こども記者たちもお店のスタッフとともに調理に参加しました。</p> <p>野菜を洗う班と調理する班に分かれています。子どもたちも包丁を持って調理に参加してるんですよ。</p> <p>ヴォラーレ江坂スタッフ：                      切った具材を、これはフードプロセッサーというんですけどこれに入れて、お野菜を崩していきます。</p> <p>藤井：                      フードプロセッサーに採れたての野菜を入れて、いったい何ができるんでしょうか？子どもたちも野菜を投入して、ボタンを押して機械を動かしています。だんだん細かくなっていますが、何ができるのか、子どもたちもワクワク。真剣ですね。瞬きひとつしない。</p>

藤井NA

フードプロセッサーから中身を取り出して、レモンや塩・コショウ、オリーブオイルなどで味を調べると、完成です。  
こちらが店の人とこども記者たちが協力して作った「夏野菜のガスパチョ」。冷たいスープのことです。上には「つるむらさき」が乗っています。

子ども記者：

いただきます。

藤井NA

夏野菜のガスパチョ。どんな味に仕上がったのでしょうか？こども記者たちに感想を聞いてみると。

上野碧斗記者インタビュー：

オクラとかいろいろ入っていたので、おいしかったです。

藤森妃菜記者インタビュー：

自分で収穫した野菜が、こんなに美味しくなるのは嬉しいと思います。

藤井慶次記者インタビュー：

お母さんのお手伝いでマシュマロを切るだけだったけど、実際に自分でやってみてすごく大変だなと思いました。

藤井NA

食べ終えたみなさん、お店のスタッフにインタビューします。

記者：

吹田の野菜は料理の中で何パーセント使っていますか？

石橋：

だいたい半分以上、6割ぐらいは平野さんの野菜を使って、その他いろんな各地で採れる野菜ですね。  
平野さんのところもいろんな人に提供されると思うんでうちだけいっぱい貰うというのは、吹田市に住んでいる平野さんの野菜のファンの人にも申し訳ないですし、平野さんの所で作れないお野菜はいろんなところから体に優しいお野菜を使っています。



藤井NA

ほかにも、こども記者たちは店で取り組んでいるエコについての質問など、たくさん聞いていました。

そして、真剣に聞いてノートに書き留めていました。

ヴォラーレシェフ 石橋勇也（ゆうや）さんインタビュー：

家で何を食べていますか？とか小学生らしい質問もあったりただ漠然と「料理とは？一言でお答えください」みたいな禅問答のような難しい質問をされて慌てましたけれどもすごく的を射てるような質問であったり、すごい知りたい欲というすごいある子たちで、ぜひ料理人になってくれへんかなと思いました。

ヴォラーレ店長 村田好平さんインタビュー：

一言でいうと「食育」ということになってくるんですけど、僕らが「地産地消」というのを広めて行っても、それが文化として次の世代に残っていかないといけないなと思っているのでそういった意味では、あの子たちが「めっちゃ楽しかったわ」と友達とかと話すと思うんですね。

そんな風に話してもらって記事にしてもらって、そんな輪が広がっていければすごくいいかなと思う。

太田真穂記者インタビュー：

平野農園さんで「吹田くわい」とか無くなっちゃいそうな野菜とかを育てているから、みんなもそれを知ってほしい。

芳賀文佳記者インタビュー：

レストランでもエコとかにも気を使っていたから、レストランだけではなくて、他の一般人とかもいろいろなことにエコにしてほしいと思います。

記者あいさつ：

ありがとうございました。

藤井NA

吹田の地産地消について、一日みっちり取材おこなったこども記者のみなさん。  
どんな記事となったのでしょうか。

TIME	映像	内容
	スタジオ	<p>藤井：                      そして、これが出来上がった記事です。                      こども記者さんの感想なども詳しく載っているんですが、                      「食べ物を育てる職業の良さを知れた」とか、                      「平野さんの想いや育てる苦労を学べた」とか、                      「食べ物を大切にしないといけないな」という感想がありました。</p> <p>田村：                      素晴らしいですね。</p> <p>藤井：                      「野菜を触った時の感じや匂いってスーパーでは知れないことだと思っただ」という感想もあって、まさに畑でしか知れないことですよね。</p> <p>田村：                      むちゃくちゃ良い体験ですよ。しかも                      知ったことを友達とかいろんな人に知ってほしいって気持ちを                      持ってくれていることが素晴らしいなと思いましたね。</p> <p>藤井：                      詳しいことは、こちらにたくさん特集されていますので、                      じっくりと市報をご覧ください。                      さて、ここで平野農園の平野さんから田村さんへのメッセージを                      頂いています。</p> <p>平野：                      田村さん、農業に興味を持ってください、面白いですよ。                      文化を守っていきたいがために何かしら命を懸けて前向きに                      がんばっていますから田村さん、私たちのことをよく勉強して、                      応援ください。よろしくお願いします。田村さん。</p> <p>田村：                      名前を呼ぶタイミングおかしいでしょ！</p> <p>藤井：                      市民のみなさんに愛されているんだなということが分かりましたが。</p>

田村：

非常にありがたいですし、ホンマに勉強して農業に興味を持ちたい  
ですし、それを吹田のみなさんに広めたいんですけど、  
やっぱり（間）寛平師匠に似てるな～っていうのが・・・。

藤井：

子どもたちの取材で改めて吹田で作られている野菜のみずみずしさ  
を見ることが出来ました。

田村：

そうですね。伝わりましたね。

藤井：

以上、今回の特集は「こども記者が行く」でした。

ワンポイント手話（34秒）

TIME	映像	内容
12:10 (0'45")	スタジオ	<p>田村： 続いては、このコーナー！「吹田の自由研究」！！</p> <p><u>スタジオバック（フライングタイトル）</u></p> <p>藤井： このコーナーは毎回あるテーマに沿って、あらゆる目線から「吹田」の街を自由研究していこう！というコーナーです。 今回のテーマは、こちら「運動はええよ」 ええですか？</p> <p>田村： そりゃ、ええですよ。 ストレス発散になりますし、健康で長生きになりますから。</p> <p>藤井： 実はこの「運動はええよ」というのは、「市報すいた」で掲載されているスポーツイベント紹介コーナーの名前でもあるんです。 今回の自由研究では「運動はええよ」で紹介されている教室を廣川さんが調査してくれました。ご覧ください。</p>

TIME	映像	内容
	VTR	<p>廣川： みなさん、こんにちは！調査員の廣川陽子です。 今回のテーマは「運動はええよ」ということで、こちら！ 田村さんの地元、山田体育館にやって来ました。 こちらでは1日スポーツ教室が行なわれているということなので、 早速行ってみたいと思います。</p> <p>NA： 田村さんの思い出も詰まった山田体育館。 さっそく館内に入ってみると、</p> <p>廣川： おお、やってます！ 見てください。こんなにたくさんの方が体を動かしています。</p> <p>NA： この日行われていたのは簡単エアロ教室。 毎回多くの参加者が集まる人気の教室です。 大阪府北部地震の影響でしばらく中断していましたが、 先月から規模を縮小し再開しています。 さっそく私も参加してみました。</p> <p>廣川： ハードな運動ではないんですけど、じとーっと私も汗かきました。 運動不足だったので、いい運動になりましたね！気持ち良いです。</p> <p>NA： この一日スポーツ教室について、山田体育館の福島さんにお話を伺いました。</p> <p>廣川： こちらの山田体育館では一日スポーツ教室は何種類ぐらい 行なわれているんですか？</p> <p>福島： 6種類行っています。 主にスタジオ系の教室で、参加者は高齢者が多いですね。</p> <p>廣川： どのようにしたら参加できるんでしょう？</p>

福島：

こういうカードを作って頂いて、券売機で曜日ごとの教室をお買い求めて、参加できるようになっています。

廣川：

誰でも参加できるんですか？

福島：

市内の方が150円、市外の方が300円です。

廣川：

そんなに安くで！それはお得ですよ。  
こちらの山田体育館では6種類ということですが、それ以外の体育館ではどうですか？

福島：

同じように5～6種類の教室を開催しております。

NA：

参加されている市民のみなさんにお話を伺いました。

廣川：

ここで体を動かして、良いことってありました？

参加者：

良いことばかりよ！若い時はずっと腰が痛かった。  
それが無くなったのと。子育て中のストレス解消にもなったみたい。  
だからホント、運動はおすすめ！

参加者：

元気でいつまでもいれるということですね。  
今もう70歳過ぎてるんですけどね、おかげさんで医者にも行かずに、  
ずっと来れてるんですけどね。

廣川：

今回私が体験した「かんたんエアロ」以外にも、  
市内の体育館では様々な教室が開かれているんです。  
運動不足だな～と思われている、そのあなた！  
今年の秋は体育館で体を動かしてみたいはいかがですか？

TIME	映像	内容
	スタジオ	<p>田村：                      良いじゃないですか！                      こんな催しをやってるのを知らなかったら出来ないですからね。</p> <p>藤井：                      そうですね。</p> <p>田村：                      ただ廣川さんの運動神経が悪そうでしたね。</p> <p>藤井：                      私も運動音痴なんですけど、仲間だなんて思いました。</p> <p>田村：                      藤井さんっぽい感じがしましたよね。</p> <p>藤井：                      簡単そうなエアロビクスとかは、そんなに運動出来ない、苦手だなという人でも出来そうですからね。</p> <p>田村：                      すぐ慣れればできますけど、藤井さんがやってるところも見てみたいですけどね。</p> <p>藤井：                      いつかチャレンジしてみようと思いました。                      今回ご紹介した1日スポーツ教室は、事前予約も要りません。                      飛び入り参加が出来ます。体育館施設の個人利用も可能だそうで、                      筋トレマシンが並んだトレーニング室、なんと一時間100円で                      利用できるということでした。                      みなさんも身体を動かしてみてください。                      以上、「吹田の自由研究」でした。</p>

TIME	映像	内容
		<p>田村： 「田村裕のすい散歩」のお時間でございます。 本日は吹田駅前の商店街にやって来てます。</p> <p>田村： とりあえず今日はこの番組のことを広めるべく、 いろんな方にお話を。こんにちは、どうも。</p> <p>男性： 昔からよくこっち来た？田村くん、北のほうやろ？</p> <p>田村： そうですね、僕は山田なんで、 お母さんと1回だけ来たことは覚えてるんです。</p> <p>男性： もっと来てくれたらいいのに。 ええ所の子やな、山田は。</p> <p>田村： 家はええ所やったんですけどね、あれよあれよとありまして。</p> <p>男性： なんかあったらしいな。読んだけどな。ちゃんと買ったで。</p> <p>田村： ありがとうございます。</p> <p>男性： もう食べてへんのか？ダンボールは。</p> <p>田村： ダンボールは食べてない。もう卒業しました。</p> <p>男性： あれ、どこ使ったん？</p> <p>田村： どこ使った？ ああ！2億の隠し方、なんすっか！</p>



男性：

使ったん？

田村：

親父に家買ったりとか。

男性：

ええ子やな！

田村：

ちなみにですけど、これJ：COMでやってる番組なんですけど、  
観てほしいんですよ。広めてほしいんですよ。  
放送時間も書いてますので。

男性：

分かりました。

田村：

9月1日から新MCになりまして、吹田市のために  
尽力していきますので、また何かあればお力添えをお願いします。

男性：

ぜひぜひ。

田村：

みんなで元気になっていかないけませんからね。

＊＊

田村：

これは、なんですか？

すごい！紙丸めて作ってる。

こんにちは。入ってもいいですか？

こちらは何屋さんですか？

女性：

吹田市内の障がいがある方が作った手作り商品を販売しています。

田村：

なるほど！全部手作りなんや！

	<p>女性： そうですね。</p> <p>田村： コーヒー染め？</p> <p>女性： そうですね。それも障がいのある方が作ったものとかを。</p> <p>田村： めっちゃカワイイ！</p> <p>女性： ありがとうございます。</p> <p>田村： 9月から僕がMCをやることになりまして、広めたくて今ブラブラしてるんです。よかったら、広めてくださいね。裏に放送時間も書いてますので。 ホームページから見れるんですよ。 「吹田市 お元気」で検索してください。そしたら見れます。</p> <p>女性： はい。わかりました。</p> <p>田村： 僕出てます。すぐ近くで収録してるんで、いつでも来れるんで「先週、どんな放送内容でした？」って聞きに来ますからね。急に抜き打ちで。 2人おらへんかったら、家まで行きますから。</p> <p>＊＊</p>
--	---

TIME	映像	内容
	<p>スタジオ T 吹田のトピックス</p>	<p>田村： 続いては、吹田の街で行われた出来事などをご紹介します 「吹田のトピックス」です。</p> <p>藤井： 今回は9月に行われた2つの話題をお届けします</p>
	<p>VTR</p>	<p><u>ナレーション・(藤井)</u> 9月8日と9日の2日間 メイシアターで「みんなの健康展」が開催されました。</p> <p>これは、市民のみなさんに気軽に楽しく健康について考え、 体験してもらおうと毎年行われています。</p> <p>各コーナーでは、血管の検査や全身の筋力の測定など 様々な健康チェックを体験することが出来ました。</p> <p>またステージでは、日々の食事の栄養について考えるクイズが 行われたほか、健康的な体づくりのための骨盤エクササイズなども 紹介され、みなさんととても楽しそうに体験されていました。</p> <p>そのほか、会場では吹田市内の子ども達から募集した 虫歯予防のポスターと作文が展示されたほか コンクールの表彰式も行われ、 後藤圭二市長から、子ども達に賞状などが贈られました。</p> <p>また、市内の高齢者のよい歯のコンクールも合わせて行われ 吹田市の歯科医師会から優秀者が表彰されました。</p>

ナレーション・(藤井)

9月16日、博物館で、  
イベント「ちりめんモンスターを探せ」が行われました。

田村さん、ちりめんモンスターって何かわかりますか？

これなんです。

「ちりめんじゃこ」を捕る時に混じる生き物が  
「モンスター」のように見えることから  
「ちりめんモンスター」と呼ばれているんです。

参加者の前には、売られているものとは違い、  
大阪湾で獲られた選別されていない「ちりめんじゃこ」。  
探していくと、中からは海老や蟹、蛸など様々な物が見つかります。

種類ごとに分けています。

そして後半には、「カタクチイワシ」、ちりめんじゃこのことですが  
この一生を体験するゲームも行われました。  
ほかの生き物に食べられるもの、ちりめんじゃことして  
食卓に並ぶものなど、ゲームを通じて食物連鎖の大切さを  
伝えていました。

じゃんけんで食べられるチームと食べるチームに分かれたそうです。

インタビュー

「いつも見てないものがいっぱい入ってて面白かった」

「生き残るって大切！」

「久しぶりに工作とかゲームが楽しかったです。  
あとは頑張ってお魚を料理します。」

TIME	映像	内容
	<p data-bbox="256 210 336 239">スタジオ</p> <p data-bbox="256 1554 384 1957">                     T お元気放送時間                      吹田市 お元気 検索                      T 手話協力                      T 企画：吹田市                      T 制作著作                      J:COM                 </p>	<p data-bbox="411 255 751 338">                     藤井：                      「生き残るって大切」                 </p> <p data-bbox="411 400 1342 577">                     田村：                      響きますねー！                      あんなシンプルに言い切られると、相田みつをさんの詩よりも響きましたね。                 </p> <p data-bbox="411 640 1230 723">                     藤井：                      早いもので、もうエンディングのお時間となりました。                 </p> <p data-bbox="411 786 1134 869">                     田村：                      あら、もう終わりですか！あっという間ですね。                 </p> <p data-bbox="411 931 1198 1249">                     藤井：                      本当に毎回あっという間なんですけど、                      この番組は月曜日から金曜日は午後6時20分から、                      土日はお昼12時から放送しています。                      また市のホームページでもご覧いただけます。                      スマートフォンでチェックすることもできますので、                      「吹田市 お元気」で検索してください！                 </p> <p data-bbox="411 1312 1134 1395">                     田村：                      それでは、また次回お会いしましょう。さようなら。                 </p> <p data-bbox="411 1458 603 1541">                     藤井：                      さようなら。                 </p>